議会報告
2022年4月発行
第150号

日立市議会だより

日立労組日立国分支部　日立市議員団

●一口メモ●
マイナンバーカード交付状況

項目	H30	R3
日立市	16.0%	46.1%
茨城県	12.6%	39.8%
全国	13.0%	41.7%

校舎も装いを新たに小中一貫校となる中里小中学校

3月議会

新たな総合計画（10カ年）の初年度予算を計上
― めざすべき将来都市像の実現にむけて ―

令和４年第１回定例議会は３月２日から３月２３日まで２２日間の日程で開催しました。上程された議案は、令和４年度一般・特別会計予算、令和３年度一般会計補正予算、条例改正など３０件です。各委員会で慎重審議の結果、いずれも原案を可決または承認しました。主な議案、請願・陳情の概要は下記のとおりです。

■予算の概要

令和４年度の歳入は、市税が前年度比３．８億円増で、個人市民税は納税義務者及び平均収入の微増により０．９億円の増、法人市民税は横ばい、固定資産税は新築家屋の増により２．７億円の増としました。また、基金繰入れを９９．１億円、市債は４９．７億円を計上しました。主な新規事業の概要は２面に掲載します。

歳入・歳出予算　（金額：百万円）

会計名		本年度	前年度	伸率（%）
一般会計		72,890	72,705	0.3
特別会計	国民健康保険	13,865	14,328	△ 3.2
	介護保険	17,476	17,390	0.5
	介護サービス	2,725	1,829	49.0
	戸別合併処理	24	24	△ 0.3
	後期高齢者医療	3,272	3,355	△ 2.5
	水道	6,165	5,626	9.6
	下水道	6,522	6,118	6.6
	小計	50,049	48,670	2.8
	合計	122,939	121,375	1.3

■条例改正の主なもの

★日立市太陽光発電設備の適正な設置・管理の条例制定
適用範囲、抑制区域、配慮事項、協議事項等を定める

★久慈サンピア日立の指定管理者の指定
(株)エムアンドエムサービスを４月から５年間指定する

★日立市学校設置条例の一部改正
中小路、滑川、金沢、豊浦幼稚園を廃止する

★日立市議会議員定数条例の一部改正
令和５年４月の市議会議員選挙より定数２４名とする

■追加議案

★ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議を可決

■人事案件

★日立市副市長選任の同意　吉成　日出男氏（再任）
★農業委員会委員の任命　沢畠　英治氏　他１３名
★人権擁護委員の推薦　鈴木　登氏（再任）

■請願・陳情

★不採択　最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書採択の請願
★不採択　バス路線新設に関する陳情

令和４年度一般会計予算の中から
― 主な新規事業の概要 ―

福祉・教育が行き届いたまち

児童クラブ運営事業（352,061k¥）
公設児童クラブを３４クラスから３７クラスへ拡充し、土曜日を毎週開設する

母子保健事業（634k¥）
電子母子手帳機能および多言語機能を備えた「子育てモバイル」を導入する

電子母子手帳

外国人留学生学費支援事業（3,000k¥）
介護福祉士をめざす外国人留学生の日本語学校の学費等を補助する

情報教育環境整備事業（450,208¥）
国が進めるＧＩＧＡスクール構想に基づき、電子黒板２５台、指導用デジタル教科書を導入する

電子黒板の例

放課後児童対策事業（46,837¥）
放課後に多様な活動をおこなう放課後子ども教室を拡充する（実施校：１３→１９校、実施日：９０日／校・年）

文化財保護事業（12,691k¥）
日立風流物展示施設の基本計画策定と文化財回廊のモデルコースマップ作成をおこなう

日立風流物

活力とにぎわいのあるまち

特産農産物事業（2,275k¥）
茂宮かぼちゃ栽培の体験農園開設に向けた、ほ場整備を実施する

茂宮かぼちゃ

キャッシュレス導入支援事業（2,500k¥）
店舗等におけるキャッシュレス決済の導入に係る経費を補助する（限度額５万円：補助率１／２）

日立地区産業支援センター自主事業（65,941k¥）
脱炭素化に取り組む中小企業に対し、専門家による相談窓口を開設して支援を促す

オフィス等誘致事業（2,500k¥）
女性や若者の雇用機会の拡大を図るため、就業ニーズの高い事務系企業の誘致を図る

シーサイドツーリズム推進事業（9,047k¥）
県が進める「大洗・ひたち海浜シーサイドルート支線コース」の設定、整備に向けた調査をおこなうと共にサイクリングイベントを実施する

日立の海岸線

動物園活性化事業（2,500k¥）
旧猛獣舎跡地に展望広場並びにビーバー舎を整備する（令和５年度完成）

安心感のある都市基盤づくり

山側住宅団地住み替え促進事業（37,180k¥）
山側住宅団地への定住や中古住宅の流通を図るため、住宅のリフォーム費用を助成する。住宅を取得または売却の前後にリフォームする際に補助する

公園すてき化整備事業（15,000k¥）
地域の拠点となる魅力ある公園の再整備を進めるため、「公園すてき化計画」を策定する

古房地公園

歩道整備事業（15,002k¥）
市内千石町を流れる大川に架かる十石橋の歩道を整備する

十石橋

生活環境の向上

コミュニティ活動推進事業（12,059k¥）
町内会のつながりの実態調査、「ごみゼロ・くさゼロ」をめざした環境美化等を支援する

脱炭素化推進事業（46,079k¥）
公共施設における再生可能エネルギーの導入可能性調査、コミュニティがおこなう脱炭素化事業を支援する

太陽光発電

ごみ処理システム検討事業（2,696k¥）
利用しやすい集積所のあり方やごみや再生資源等の収集の新たなシステムについて検討する

ごみ集積所

行財政改革と安全・安心を前に進める

デジタル化推進事業（57,211k¥）
- マイナンバーカードによるオンライン申請管理システムを導入する（転出届、保育所申請、児童手当手続、要介護認定等を想定：令和５年稼働）
- 業務システムを標準化する（住民情報、固定資産税等）

公用車ＥＶ導入事業（8,043k¥）
脱炭素化取組の一環として、環境負荷の低い電気自動車（ＥＶ）を公用車として導入する（軽自動車３台を予定）

ＥＶの例

防災対策推進事業（52,689k¥）
- 避難行動要支援者ごとに避難経路や避難所などを可視化できるシステムを導入する
- 災害の状況に応じ避難行動要支援者等へ避難情報を一斉配信するシステムを導入する
- 各種ハザードマップを統合する

中山間地域の新たな魅力づくり
～ 中里地区観光案内所および里川吊橋周辺整備による観光誘客 ～

本市では、中山間地域に広がる豊かな自然環境と地域資源を活用した観光誘客による交流人口の拡大および地域活性化を図るため、第３次日立市観光物産振興計画において、「グリーンツーリズムを通じた中山間地域の魅力づくり」を主な施策として位置付けています。

令和３年度は、夢ひたちファームなか里ピザ工房での観光案内業務の開始やトイレおよび観光案内板を設置、令和４年度は、日立中里フルーツ街道の中央部に位置する里川吊橋周辺の新たな魅力づくりのため、吊橋の改修や駐車場、トイレ、遊歩道、カフェ、広場等を整備するための実施設計を進めます。

復旧工事が完了した鳥坂橋

中里地区観光案内所

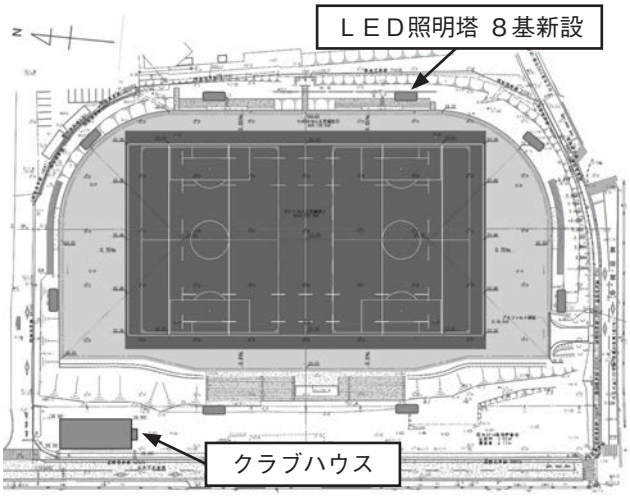
観光案内所

整備中のトイレ

待望の人工芝生グラウンドを整備へ
(仮称)会瀬スポーツ広場の実施設計概要

市民運動公園と一体的に活用できる拠点スポーツ施設として、会瀬地区に人工芝生のグラウンドを整備します。

自由広場は、ラグビー・サッカー併用の１面で、ＬＥＤ照明塔やトイレ、更衣室、シャワーを備えたクラブハウスも設置します。令和４年９月下旬に着工し、令和５年７月上旬に供用開始となる計画です。



ハイリスク分娩の母体搬送受入れも再開
地域周産期母子医療センター完全復活

令和３年４月から、新生児の搬送受入れに限定して日立総合病院地域周産期母子医療センターが再開しました。

令和４年４月からは、筑波大学から指導医クラスの産婦人科医１人、小児科医１人の派遣や、助産婦など診療体制の充実が図られ、ハイリスク分娩の母体搬送受入れも再開し、地域周産期母子医療センターが完全復活となります。

診療科	常勤医師数(令和４年４月から)	非常勤医師数
産婦人科	7人(全員筑波大学派遣)	2人
小児科	9人(日立総合病院４人、筑波大３人、県立こども病院２人)	1人

～ 定住や中古住宅の流通を促進 ～
山側住宅団地等の空き家対策を強化

「日立市空家等対策計画」の令和４年度の改定に向け、市内全域の空き家実態調査を実施しました。５年前と比較し危険な状態の空き家は減少したものの、空き家戸数は１,３３６件増加し、特に山側住宅団地の空き家が目立ちます。

令和４年度は、これまでの補助金制度※に加え、山側住宅団地における中古住宅の流通を図るため、リフォーム費用を最大２００万円助成する事業に新たに取り組みます。

また、空き家所有者への意向調査やパブリックコメントなどの実施による検討を加え、令和４年度の早い時期に、「次期日立市空家等対策計画」の改定をおこない、空家等の発生予防から維持管理・流通・利活用の促進、管理不全な空家等の解消に取り組んでいきます。

※これまでの空き家対策補助金制度

空き家解体補助金 (跡地を利活用した場合)	最大 50万円	[併用可] 最大 約100万円
隣地統合補助金 (隣地を統合して所有する場合)	最大 50万円	
空き家利活用リフォーム補助金 (山側団地を含む現在の補助制度)	最大 30万円	

危険な状態の空き家(例)

ハイレベルな選手への成長を願って
(仮称)プレ・ゴールデンエイジ育成モデル事業

子どもたちの運動能力の基礎が形成されるプレ・ゴールデンエイジ（５歳頃～８歳頃）は、脳をはじめとする神経回路の発達が急ピッチで進む大切な時期であり、近年、文部科学省も注目しています。そこで、総合型地域スポーツクラブへ委託し、子どもたちに「走る・跳ぶ・投げる」といった基本的動作ができる「運動遊びプログラム」に定期的・継続的に取り組んでもらい、その効果を検証する事業に取り組みます。

幼・少年期に多様な運動経験を積むことによって、運動能力を高めた本市の子どもたちが、将来、ハイレベルな選手に成長することが期待されます。

キッチンカーフェスで賑わう日立駅前新都市広場

代表・一般質問の中から

ＢＲＴを活かしたまちづくり、コロナ禍における学校教育、若者応援に向けた環境づくりについて

議会の質問と提言

■ＢＲＴを活かしたまちづくりについて

（質問）常陸多賀駅から日立駅までの第Ⅲ期区間の進捗状況と、「ひたちＢＲＴまちづくり計画」として、今後どのように取り組んでいくのかについて伺う。

（答弁）常陸多賀駅から日立駅までの市街地の状況から、大規模事業所や多くの教育機関、大型店舗、医療機関や池の川さくらアリーナなどが立地すること、さらには、周辺にまとまった低未利用地があり、今後、商業や居住機能を沿線に呼び込む可能性などがあることから、中央線を通るルートを基本に検討している。

また、第Ⅲ期区間を一度に整備するには時間を要することから、池の川さくらアリーナ付近までの区間を先行して整備し、その後、段階的に北進して、順次供用していくなど、ひたちＢＲＴの整備を着実に進め、「多極ネットワーク型コンパクトシティ」の実現をめざしていく。

■コロナ禍における学校教育について

（質問）タブレット端末によるオンライン授業で、学級間の温度差があるとの声を伺っているが、コロナ禍における学校教育現場での課題等について見解を伺う。

（答弁）１人１台のタブレット端末が配備されたことにより、授業での活用の幅が広がり、リモートでの学習も可能となったが、一方で、各校ではその準備のために多くの時間を費やしてきた現状がある。

専門的な知識や経験を持つ人材による組織的な支援によって学習効果が高まることは「理科室のおじさん」を配置したことで実証されており、ＩＣＴへの組織的な人材サポートも同様の成果が期待できるのではないかと考える。

コロナ禍にあっても、タブレット端末等のＩＣＴ機器は、ひたちらしい教育を進めていく上で有効なツールであり、ＩＣＴの活用を支援する組織の在り方や人材など、他都市の事例も参考にしながら、具体策を検討していく。

■若者応援に向けた環境づくりについて

（質問）旧イトーヨーカドーやシビックセンターを含めた日立駅周辺に、カフェ、フリーWi-Fi、フリースペース等の若者が「気軽に集える場」を整備してはどうか。

（答弁）ひたち若者かがやきプランの策定に当たり、市内在住の若者世代２，０００人に対し意識調査を実施したところ、気軽に集える場を求める声は、全体の９割を占めたことを踏まえ、プランの基本方針にも「若者が集まる場づくり」を推進していくこととしている。

日立駅周辺は、人が行き交い集まる環境が充実しており、利便性も高く有効な場の一つと捉えることができることから、今後、若者の場づくりに活かしていきたい。

また、若者にとっては、イベントなどで時間を共有することも「場」と捉えており、多様な考え方があるため、今後も引き続き、若者のニーズを見定めつつ、若者が気軽に集える「場」の在り方についてさらに検討を進める。

（質問）行政がより幅広い若者の意見を吸い上げる手段として、ＬＩＮＥ等のＳＮＳで気軽に意見を投稿できる若者専用ネットワークを構築してはどうか。

（答弁）意識調査において、若者の６割ほどが、行政に対して「気軽に投稿できる仕組み」を求めていることから、ひたち若者かがやき会議と市が連携し、令和３年９月にフェイスブック、ツイッター、インスタグラム、ノートの４種類のＳＮＳを利用したページを立ち上げた。

ＳＮＳでは、市内外で活躍する本市にゆかりのある若者の姿や、イベントなどの情報を発信しており、その中で行政につながる窓口を整えるなど、若者の意見を幅広く集められるよう検討していく。

衆議院議員
浅野 さとし

新しい力で
未来を拓く

茨城県議会議員
高安 博明

魅力ある
活気あふれる
まちづくり

日立市議会議員
青木 俊一（5期）
日立市東成沢町3−7−7
TEL 35−6909
総務産業常任委員会
ジャイアントパンダ誘致推進特別委員会委員長

日立市議会議員
助川 悟（1期）
日立市会瀬町1−7−5
TEL 33−0615（事務所）
教育福祉常任委員会副委員長
幹線道路整備促進特別委員会

議会だよりは二人で編集しています。ご意見をお寄せ下さい。